| 第32回国保・後期高齢者<br>ヘルスサポート事業運営委員会 | 資料<br>No.3 |
| --- | --- |
| 令和8年10月26日（月） | |

# 令和7年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書取りまとめについて

国民健康保険中央会
保健福祉部保健事業課

目　次

１．ご意見いただきたい事項　・・　Ｐ　２

・参考

・別紙１　令和7年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書取りまとめ【確定版】

・別紙２　令和７年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書に基づく
保険者支援に係る分析結果

# １．ご意見いただきたい事項

（１）令和7年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書取りまとめ【確定版】（別紙１）について、過不足がないかご意見をいただきたい。

（２）令和7年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書に基づく保険者支援に係る分析結果（別紙２）について、ご意見をいただきたい。

参考

# 第23回・第24回WGにおけるご意見と対応①

## 【第23回WG】

| | ご意見 | 対応 |
|---|---|---|
| 1 | ・単に数値を並べるだけでなく、各連合会のトップや現場の意欲を高めるようなメッセージ性のある分析・提示を行うべきである。<br>・分析したものはフィードバックしつつ、特にこれはというところは概要版で説明してほしい。 | ・連合会のニーズに合ったメッセージ性のある分析・提示を行う。また、連合会に有益な情報をフィードバックするよう努める。<br>・これまでと同様に概要版を作成し、支援・評価委員会報告会で連合会に説明。 |
| 2 | ・共通指標や基礎的指標に関しては別ルートで集めて、それで改善度を見るという視点もよい。 | ・保険者支援の評価において保険者の変化を捉えるために、データヘルス計画における国の共通指標や基礎的指標に着目し、連合会における活用方法について検討。 |
| 3 | ・対面支援だけでなく、Web会議や書面助言の有効な活用方法や組み合わせのあり方について提示できると実効性が高い。<br>・研修、データ活用支援をしていないところはないのではないか。データの解釈が間違っていないのか再考すべき。 | ・事業報告書取りまとめの際の参考とする。<br>・設問の立て方が適切か、データの解釈が間違っていないか確認。 |
| 4 | ・クロス集計だけでなく単項目の集計でも重要なものがあれば示してほしい。集計してみて効果がないものはやめてもよいのでは。<br>・例えば東京は離島がある等、保険者の特性についてコメントできるとよいのでは。 | ・事業報告書取りまとめの際の参考とする。 |

次のご意見については、今後引き続き検討したい。

| ご意見 |
|---|
| ・職員一人当たりの支援保険者数が多い中でも高い充足度を得ている連合会など、ポジティブディビアンス（優良事例）に着目した深掘りやヒアリング調査を行い、具体的な工夫のノウハウを横展開してほしい。また、分析した際に外れ値は大事な要素のため、この点に着目してヒアリングで確認してほしい。 |

# 第23回・第24回WGにおけるご意見と対応②

## 【第24回WG】

| | ご意見 | 対応 |
|---|---|---|
| 1 | ・豊富なデータが示されているが、全体のまとめや要点が前方に配置されているとより読みやすくなる。<br>・また、都道府県によって構成市町村への支援率に大きな開きがある点について、広域連合との役割分担等によるものなのか、実態を把握しているか。 | ・別紙１、別紙２の資料構成を変更し、全体のまとめを前半に配置。<br>・直接支援・間接支援ともに「支援なし」と回答した連合会に個別に確認したところ、広域連合が支援の中心であり、連合会も関与していた。連合会によっては、保険者がヘルスサポート事業を申請した場合のみ「支援あり」としてカウントしているため、連合会が関与している場合は「支援あり」とするよう周知したい。 |

次のご意見については、今後引き続き検討したい。

| ご意見 |
|---|
| ・報告書や分析のまとめにおいて、文字情報だけでなくPowerPointや図示を活用したプレゼンテーション形式を取り入れることで、関係者の関心を引き、理解を深められるのではないか。「助言は有用だが対応未定」となっている要因の深掘りなど、クロス集計によって見えてきた示唆は今後の支援充実に大きくつながるため、ぜひ進めてほしい。 |